

長谷 平成30年度集落实態調査(まとめ)

長谷の理想の地域像

- 水道 ●営農組合が続いているように ●地域として収入を増やせる地域
- シンプル(役の整理など) ●家族が増えている ●子どもがつかないでいる
- 地元で働けるところ ●みんなで支えあった地域 ●みんなが働き自由に暮らせる
- 子どもが増えている ●限快集落(愉快地) ●草刈作業を助け合ってやる地域
- 元気に地区の人とつながりたい
- 晴耕雨読(せいこううどく) ……晴れた日には多を耕し、雨が降ればゆっくり休むのんびりした暮らし

理想の地域に近付くために必要な取組み

～つながりづくり～

- ・住民で一緒に取組む
- ・組織の整理
- ・月に1回集いの場づくり(長谷未来を考える会)
- ・悩みごとをいつでも話せる関係づくり

～U・Iターン～

- ・長谷クライנגアルテンを作る
- ・子どもたちに想いを伝える(伝統の継承)
- ・地元の情報をSNSで発信

～収入を上げるために～

- ・畜産を増やす
- ・米の販路を開拓
- ・6次化(生産から加工販売まで)

～高齢になっても安心して健康で暮らせるように～

- ・墓をまとめた場所に集める
- ・家をまとめる。そうすると除雪が楽になる。
- ・長生き体操を継続
- ・みんなで「お笑い」を見る

～営農組合を維持するために～

- ・女性もできることがあれば手伝ってもらう(田の水を管理したり)
- ・U・Iターンでも農業したい人を募集する
- ・米の販路開拓
- ・ドローンの活用
- ・圃場の再区画化検討
- ・田を選んでいく(効率的な農業)
- ・営農組合の法人化(株式会社)
- ・冬の除雪

～その他～

- ・発想を変えていく
- ・LINEの導入(地域の連絡網に)
- ・多数決しない
- ・無理をしない関係づくり

すぐにでも出来そうなこと

- ・長生き体操の継続
- ・活動を一緒にやる
- ・役の洗い出し(見える化)
- ・顔を合わせて話をする
- ・シンプルにする
- ・SNSで地域の情報発信
- ・子どもに想いを伝える
- ・月に1回、長谷の未来を考えるための飲み会
- ・田の選定、ドローン活用(すぐに検討)
- ・みんなで「お笑い」をみる
- ・営農組合のために田の水をみる

・過去にこだわらない

- ・役の整理(見える化からの実行)
- ・行事の整理

・営農組合の法人化

・6次産業化

・米の販路拡大

・農業など教えられる人がいるか…

・U・Iターンを増やす(農業したい人の募集)

・長谷にドローンを買う

・月給がちゃんともらえる仕組みづくり

・長谷クライングアルテン

時間がかかりそうなこと

Uターンを増やす

地元の物産を発信
長谷を選んでもらえる
郷作り

つばがわり作り

集いの場 何でか語る

健康



長生き体操
お笑いをみる

水道



もう一度
地元の意見をまとめて
役場建設課へ

話し合い



役割や行事など

洗い出して整理する
組織をまとめる

中継の決め方

多数決をやめる
新しい発想
過去にこだわらない



限快集衆



大変なことも
あみだに
楽しく シンプル

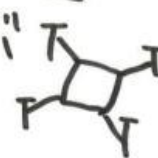
無理はしないよ

新しいこと

LINEの導入

スマホの活用
メタファについて学び

ドローンの導入



農業



続けることができるしくみ
- ドローンの導入
- ほ場 → 選ぶ、区画整理
水を見る
特別な技術者のいらなり
ことを分担